

# 第2回教育講演会 地域の良さを発信できる鉄道に！



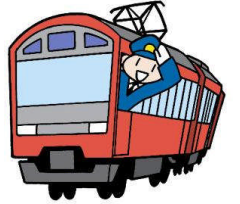
## —水間鉄道にかける私の夢—

月 日：6月20日（水）

時 程：第5校時 参観授業 1：40～2：25

第6校時 講 演 2：40～4：00

場 所：二色小体育館



大阪府貝塚市を走る、ローカル線『水間鉄道』。水間鉄道はわずか5.5キロの道のりを15分で結ぶ小さな民営鉄道ですが、80年以上の歴史があり、通勤通学の足として地域住民の生活を支えています。

### 講師紹介



関西（せきにし）佳子さん（水間鉄道社長）

長く愛されてきた水間鉄道ですが、7年前には258億円もの大きな負債を抱えていました。そんな状況から再建の道筋をつけたのが、社長の関西佳子さんです。

関西さんは、

「当初は鉄道経営に興味がなく、2年間だけ手伝うつもりでした。しかし、いつのまにか夢中になっていました。「迷ったり弱気になったりすると、『経営を安定させ、利益追求だけでなく沿線の文化を伝え育てる鉄道にしよう』という父の言葉を自分に言い聞かせていました。まだ経営安定化が優先ですが、地域の良さを発信できる鉄道にしていくのが私の夢です。」と夢を語っておられます。



### 水間鉄道



大阪府貝塚市北部の5.5キロを走る水間（みずま）鉄道は1926（大正15）年、厄よけ観音で知られる水間寺の参拝客を運ぶために全線開業。70年代のピーク時には年間約400万人が利用した。

車で寺へ向かう人が多くなり、2008年現在では、年間約220万人の通勤・通学客らが乗る都市型路線に姿を変えた。

そんな鉄道が存続の危機にさらされたのは数年前。バブル期の過剰な不動産投資で経営が悪化した。05年に約258億円の負債を抱えて会社更生法の適用を申請した。

5月号の案内で関西佳子さんとなっていました。正しくは佳子さんです。訂正してお詫びいたします。

この日は、お子さんの授業を見られた後、ぜひお友達を誘い、関西さんのお話を聞きに体育館へ来てください。

また、おじいちゃん、おばあちゃんのおられる方も、一緒にお話をぜひ聞いてください。

地域の鉄道である水間鉄道の大切さをもう一度考えてみましょう！

夢について考える取り組みですので、6年生も一緒に聞かせていただく予定です。